

# 世界遺産「ルソン島の棚田」を訪ねて

名和公民館「世界遺産研究会」の

野津哲男代表（西坪）の手記

名和公民館「世界遺産研究会」  
3年目の今年はフィリピン・ルソ  
ン島北部へ出掛けた。

8月10日関西空港を離陸、一  
路マニラへ。ニノイ・アキノ国  
際空港で現地日本語ガイドのマ  
リオさん（昭和2年生まれ）と  
運転手付のワゴン車をチャーチー  
で世界遺産の「サン・アグス  
チン教会」を訪問し歴史や文化  
財を視察した。

## 町全体が世界遺産

翌11日、深い渓谷をぬつて  
フィリピン第二の首都バギオ市  
へ。ここでバギオ大聖堂や避暑  
ビガンのスペイン風の街並み

## 棚田への遠い道のり

13日、いよいよ今回研修のメ  
イン、世界危機遺産「コルディ  
レラの棚田群」を目指して出  
発。難コースの連続で山道や非  
舗装路を11時間も費やし、やつ  
とセルバンテスという村に着い

用の大統領官邸などを訪問。雨  
期で霧が立ちこめ町並みは美し  
かつたが、数多くの日本軍の慰  
靈碑、忠魂碑に出会つたことが  
強く印象に残る。

その後サンフェルナンドを経  
由して海岸線を走り、ビガンに  
到着する。ビガンは町全体が歴  
史地区として世界遺産に登録さ  
れており、ここで2泊した。16  
世紀のスペイン建築様式のホテ  
ルは落ち着いた雰囲気の中でゆ  
とりの贅沢を楽しむ。翌朝セント・ポール・メトロボリタン  
大聖堂の日曜ミサを見学。町の  
人たちが歴史を大切にしながら  
生活をしている姿に感銘を受け  
る。

た。だが目的地への道は、台風  
9号で国道橋が流失して通行不  
可。地元警察署の夜間走行は危  
険との忠告もあり急きよ当地に  
宿泊。共産ゲリラが出るという  
地域で、ホテルにカービン銃で  
武装した警官が護衛につくおま  
けも。

14日朝7時、迂回路の道路状  
況は最悪で地元の路線バスでさ

えも立ち往生し、タイヤチェーン  
をまいて乗客が押しての峠越  
産とされる理由も散見される。  
荒れている箇所もあり数年後に  
はこの棚田の世界遺産が消滅し  
てしまうのではと心配となる。  
若年労働者の都会への流出や温  
暖化による大量の酸性雨、地震  
や土壤の軟化などから保存が困  
難になり、周辺部では耕作放棄  
で棚田が失われている。保存を  
怠れば、世界遺産取り消しの運  
命も容易に想像できる。

## 黄金に輝く棚田

次の朝、ホテルの窓からもコ  
ルディリエラ山脈の山々のライ  
ステラス（棚田）が目に飛び込  
む。

たわわに実った収穫期の黄

## 世界遺産への思い

もともと万物は失われるも  
のであり世界遺産指定はそのス  
ピードを少しでも遅くし、後の  
人たちに人類共有の遺産として  
残そうとするものであり、観光  
資源開発などの現世利益追求の  
みの発想で、登録を模索するも  
のではないと思う。現に一般人  
の立ち入りを禁止している世界  
遺産もある。アンコールワット  
で目覚めた世界遺産への旅。世  
界遺産研究会の参加型現地研修  
は旅行業者のツアーディス得られ  
ない旅だった。

金に輝く棚田を眺める。高低差  
1500mに及ぶ景観は素晴らしい  
が、ところどころに危機遺  
産とされる理由も散見される。  
荒れている箇所もあり数年後に  
はこの棚田の世界遺産が消滅し  
てしまうのではと心配となる。  
若年労働者の都会への流出や温  
暖化による大量の酸性雨、地震  
や土壤の軟化などから保存が困  
難になり、周辺部では耕作放棄  
で棚田が失われている。保存を  
怠れば、世界遺産取り消しの運  
命も容易に想像できる。